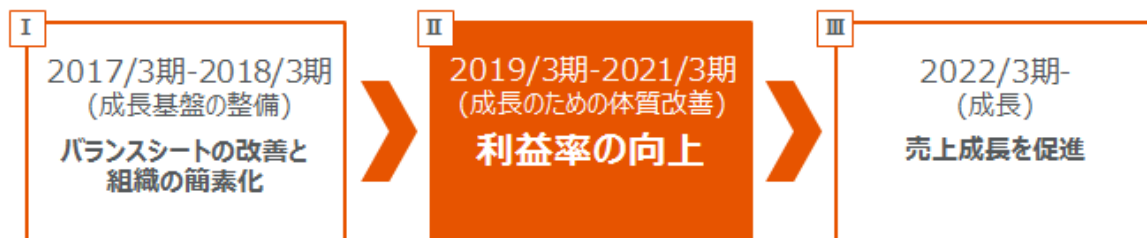


報道関係各位

2017年11月6日

持続的成長の実現に向け、新中期経営計画を策定 2021年3月期までに競争力強化と利益率向上を実現

株式会社 LIXIL グループ（本社：東京都千代田区、社長：瀬戸欣哉、以下 LIXIL グループ）は、この度、新中期経営計画「Toward Sustainable Growth（持続的成長に向けて）」を策定しました。この中期経営計画は、長期的に持続可能な成長の実現に向けて、2021年3月期までの向こう3カ年で、全社一丸となって取り組む行動計画を示しています。



LIXIL グループ社長兼 CEO 瀬戸欣哉のコメント

「LIXIL グループは、優れた製品とサービスを生み出し、世界中の人びとのより豊かで快適な住生活を実現することを基本理念として、事業活動を展開してきました。この企業理念は、変わらぬ当社の基本姿勢として位置づけ、その実現に向けた取り組みを今後さらに強化していきます。新たに策定した中期経営計画は、組織の俊敏さを高め、メーカーとしてイノベーションを重視し、起業家精神の発揮を促進することを目指したものです。過去2年間において、事業構造の見直しや組織の簡素化、バランスシートの改善を図るなど、効率的で機動力のある組織へと転換を図ってきました。次のステージではさらなる成長に向けた体質改善に注力し、持続可能な高い競争力を持ち、従業員や株主に長期的な価値を提供することができる企業を目指します」

主要な数値目標

新中期経営計画では、来年度2019年3月期から2021年3月期までの3カ年で、高い収益性を確保し、財務面でも安定した組織を構築することを目指し、以下の数値目標を設定しています。

- 事業利益率 7.5%
- 親会社所有者帰属持分当期利益率^{※1} (ROE) 10%以上
- 純有利子負債対 EBITDA 比率 2.5 倍以下
- 親会社所有者帰属持分比率^{※2} 35%

※1 日本会計基準 (JGAAP) における自己資本当期純利益率に相当。

※2 日本会計基準 (JGAAP) における自己資本比率に相当。

戦略的施策

LIXIL グループは、日本に加え、EMENA（欧州・中東・北アフリカ）、米州、アジア太平洋、サハラ以南アフリカという主要地域でグローバルに事業を展開しています。中期経営計画に基づき、グローバルに全社で推進する戦略的重点施策として、下記4つの施策を掲げています。

● 持続的成長に向けた組織を作る

LIXIL グループは、変化に俊敏に対応できるような環境を構築するため、組織文化の変革を進めます。従業員が起業家精神を発揮し、活発な意見交換や実験的な取り組みが行えるような組織風土を醸成します。また、従業員が互いを尊重し、刺激を受け合い、熱意を持って取り組むことができるような環境を作るとともに、社会的に意義のある大きな目標の達成を通じて従業員が一つになることができる企業を目指しています。当社は、グローバルな衛生課題の解決に向けて、2020年までに1億人の衛生環境の改善を目標に掲げており、加えて、水の保全と環境保護、多様性の尊重という3つの分野で、より良い未来への投資と戦略推進を継続します。

● 魅力ある差別化された製品の開発

ライフスタイル関連製品の業界はコモディティ化が進んでいます。一方、当社は多様なライフスタイル、嗜好やニーズに対応する強いブランドを有し、こうしたブランドに対する投資とその真髄となるDNAの強化を進めることで、利益ある成長につなげていきます。変化する消費者ニーズや嗜好に対応できるよう、イノベーション、デザイン、品質の向上を追及していきます。さらに、製品開発のための強い知財基盤を持ち、短いサイクルで差別化された製品を市場投入できるよう「アセットライト」のビジネスモデルへ移行します。加えて、国内の組織構造の見直しを行い、製品開発、生産、販売の機能を一組織に統合することで、製品開発サイクルのスピード向上を図ります。

● 競争力あるコストの実現

バランスシートと利益率の改善に向け、新技術やインフラの活用により、効率的で柔軟なサプライチェーン管理体制を構築し、コスト管理を向上させます。さらに、間接部門の生産性を高め、必要とする部門に人員の再配置を行う「HQ-FITプログラム」などの施策推進を通じて、コスト効率の向上につなげます。

● エンドユーザー、インフルエンサーへのマーケティング

エンドユーザーおよび工事業者、デザイナー、工務店等のインフルエンサーとの接点の拡充を図ります。例えば、住宅建築向けのITプラットフォームを提供するK-engineのデジタル技術を活用し、わずか5分で住宅1棟分の原価積算や、提案、見積もりを可能にすることで、インフルエンサーへのアプローチを強化します。また、「リクシル PATTO リフォーム」をはじめとする新サービスの推進を通じて、リフォームに対するエンドユーザーの不安を取り除き、日本における新たなリフォーム需要を創出します。

さらなる成長に向けて

世界人口の増加、とりわけ中間層の拡大により、住宅建材や水まわり設備に対する需要は今後も拡大すると見込まれます。LIXIL グループは、中期経営計画を通じて自社の強みを再定義し、世界で最も尊敬される強力なブランドを有し、住宅建材と水まわり設備の分野で独自性の高い製品・サービスを提供する企業として、さらなる飛躍を目指します。組織の機動力を高め、イノベーションを追求し、これまで以上に早いスピードで差別化された製品・サービスを生み出すことで、将来の売上成長につなげていきます。

中期経営計画の詳細については、LIXIL グループウェブサイト (www.lixil.com/jp/) をご覧ください。

■ LIXIL、LIXIL グループについて

LIXIL について

株式会社LIXILは、戸建住宅・マンションからオフィス・商業施設などの非住宅向けに、多岐にわたる建材・設備機器および幅広い住関連サービスを提供するグローバル企業です。LIXIL、American Standard、GROHE、DXV、INAX、Permasteelisaをはじめとする業界をリードする数々のブランドを有し、水まわり製品から内外装建材をはじめとする先進的な製品・サービスの提供を通じて、世界中の人びとのより豊かで快適な住まいと暮らしの実現に貢献しています。現在、世界150カ国以上で事業を展開し、70,000人超の従業員を擁しています。

LIXILウェブサイト：<http://www.lixil.co.jp/>

LIXIL グループについて

株式会社 LIXIL グループ（証券コード：5938）は、中核事業会社である株式会社 LIXIL をはじめ、株式会社 LIXIL ビバ、株式会社 LIXIL 住宅研究所などを傘下に持つ持株会社で、東京証券取引所および名古屋証券取引所に上場しています。多岐にわたる建材・設備機器の製造、販売に加え、ホームセンター事業や住宅フランチャイズチェーンの運営、不動産サービスなど、幅広い住関連サービスを展開しています。2017年3月期の連結売上高は1兆7,864億円*です。

LIXIL グループウェブサイト：<http://www.lixil.com/jp/>

※国際会計基準（IFRS）ベース